

苦しい 恋と不倫

悩めるあなた、丸ごと受け止めます!

志茂田景樹の 連載第5回 あたためるコトバ

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます!

夫以外の男性に片思い。
許されるでしょうか?

E・Hさん (52歳)

職場で、ある人を好きになりました。と言っても片思いで、しかも今は異動されて会えません。お元気そうだと人づてに聞いて、嬉しく思うだけ。でも、今も切ないくらい好きです。こんな恋でも、やっぱり悪いことでしょうか。夫がいるのに……。

「ダブル不倫の腐れ縁」
はさっさと断ち切って!

この男性は信用なりません。不倫でも本気の恋なら、自分の家庭の悪口なんて言わないものですよ。「君が生きがい」という言葉も、実のところは「お気に入りのおもちゃを失いたくない」程度の気持ち

W不倫をやめたいけれど
彼が別れてくれなくて…

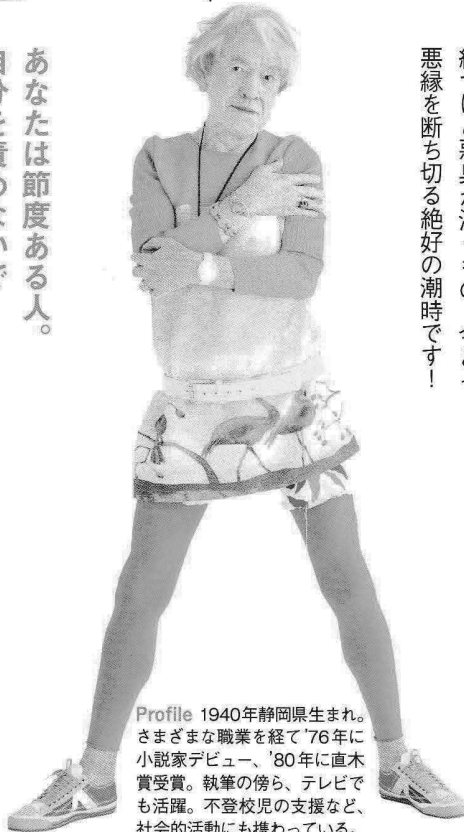
M・Mさん (36歳)

4年前に知り合った男性とW不倫中。私は離婚する気はないし、こんなこと続けられない、と思うのですが、彼だけが「僕の家庭は冷えきっている、君だけが生きがいだ」と言っんです。私もそう言われると気持ちがグラついてしまっ……。

あなたは節度ある人。
自分を責めないで

その人とはもう会えないなら、さっと「寂しい」「会いたい」という気持ちが強いでしよう。なのに、「彼が元気で嬉しい」と言えるあなたは、節度のある誠実な人だと思います。

そういう人は間違っただ道には進まないもの。万一、彼と再会しても想いを心にとどめていられるは



Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て'76年に小説家デビュー、'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

ちでしょう。

ですから、あなたの「別れたい」という直感は「正解」です。

別れるのは意外に簡単ですよ。「何の未来も見えないから」と言うだけでOK。実際、それがあなたの正直な気持ちでしょうか? 離婚はしない、でも不倫もやめられない、なんてムシの良い考えはさっさと捨てましょう。

ダブル不倫の腐れ縁は、年月が経つほど悪臭が漂うもの。今こそ悪縁を断ち切る絶好の潮時です!

二度の辛い離婚を経験。
新しい恋をするのが怖い

N・Fさん (39歳)

一度目の夫はDV男、二度目の夫は身重の私を置いて逃げ、財産まで盗むような男でした。その後、子供と実家に身を寄せて4年経ちましたが、今も恋ができません。セックスフレンドのようなつきあいはあるのですが……。苦しい経験がよみがえってきて、前に踏み出せないんです。

ず。そんなさわやかな恋に、罪悪感を持つ必要などありません。

心で想うだけでも夫に申し訳ない、と思うあなたは真面目な人でもありますね。でも、年を重ねた夫婦って懐の深いものですよ。ご主人に「職場に素敵な人がいたのよ」なんて、冗談めかして話してもいいくらいです。そこは気楽にかまえてOKです。

今は前に進むよりも、
「見る目」を磨こう

今のあなたは、「踏み出す」より「立ち止まる」ことが必要です。厳しいことを言いますが、あなたは少々、男性を見る目がない模様。それでは次の恋をしても不幸になるだけ。ここは腰を落着けて、「人を見る目」の鍛錬を。

注意深くすれば、男性の真の姿は行動の端々に見えるものです。食事後に「財布忘れた」とあなたに会計を頼んだり、別の女性のお尻を目で追ったり……なんて男は当然NG。信頼できる人に、「あの人どう思う?」と評価を聞くのも良い方法です。

そんな年月はあなたを磨き、成長させるはず。その先に、本当に幸福な道が開けてきますよ。

カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ!

①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください(電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります)。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係



今月の

KAGEKI FASHION

中央の写真と同じトップスに、サーモンピンクのアラビア風パンツを合わせて。鮮やかな色に、春らしさが満開!